

「カラー版」

# 瀬戸内海 島旅入門



齋藤潤

「直島」だけでは  
もったいない!

瀬戸内の島をめぐる  
と見えてくる魅力。

兵庫、岡山、香川、広島、愛媛、山口の  
有人島から無人島まで

瀬戸内海の島

約 **90** 紹介!

マイナビ





「カラー版」  
瀬戸内海  
島旅入門

斎藤潤



真鍋島の南岸に1軒だけたたずむ島宿三虎。リゾートの雰囲気が漂う

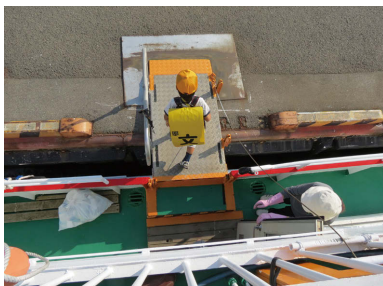


懐かしい空気が漂う津和地島のメインストリート





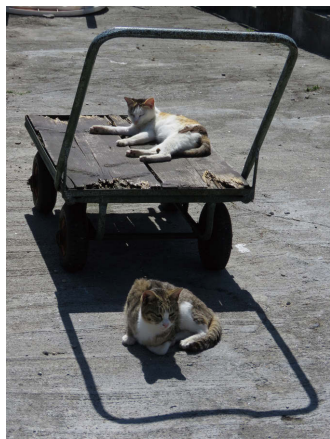
今治市の津島には立派な木造家屋が多い



船で通学する安居島の小学生

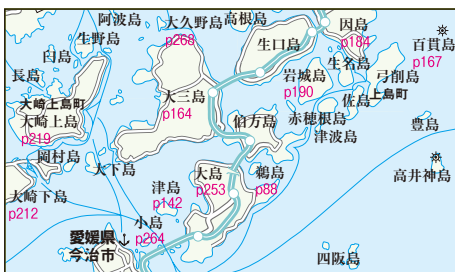
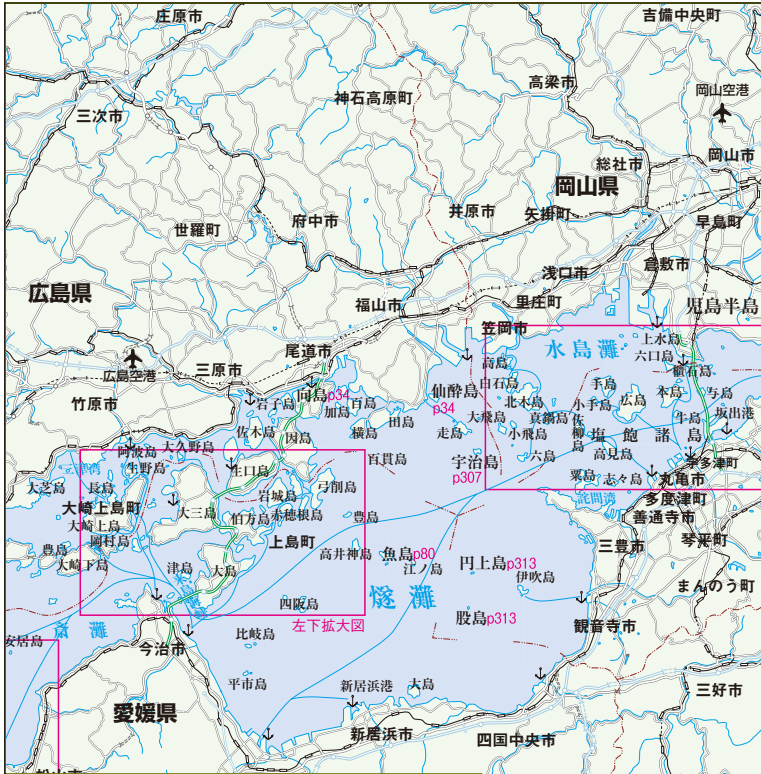


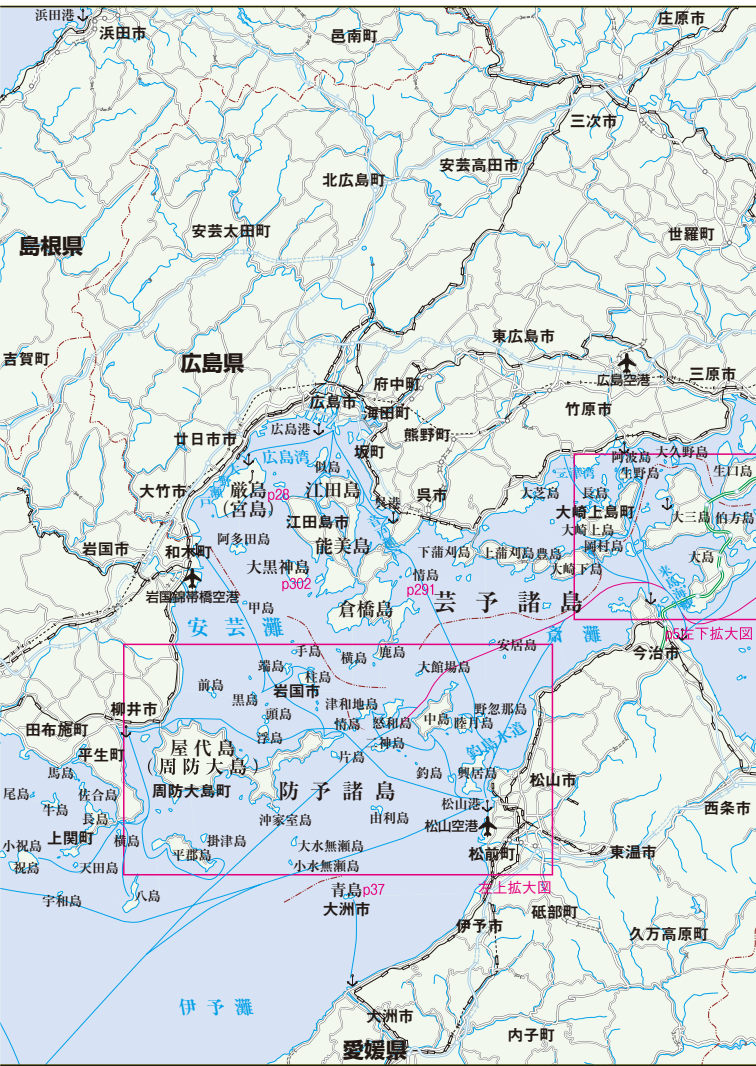
与島近くを航行中に見上げた瀬戸大橋



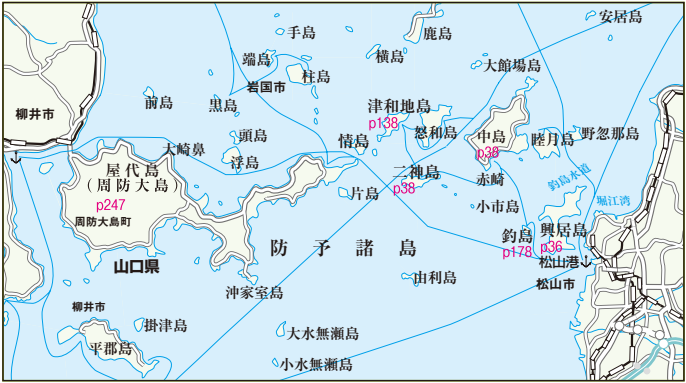
佐柳島で見かけた猫たち











## はじめに

瀬戸内海の島々は、楽しく、おもしろく、美味しく、興味深くて、愛しい。

しかし、どれも控え目で、奥ゆかしい。

屋久島や西表島、利尻島・礼文島、小笠原などのように、圧倒的な自然があるわけでもなく、南西諸島の多くの島々のようにきらめくサンゴ礁があるわけでもない。

派手さや特異性が少ないので、地味な印象を受けることが多いのも事実だ。

しかし、知れば知るほどその奥深さに引きずり込まれてしまう。

古来、中国大陸や朝鮮半島から九州にもたらされた文物や新技術、渡来人、農作物は、瀬戸内海を通じて畿内へ運ばれ、そこからさらに東へ散っていった。

国内最大の物流ルートも、瀬戸内海だったと言えるだろう。

その巨大な流れの中にあつた多くの島々は寄港地となり、さまざまな足跡が印されることになった。今や判然としない痕跡でも、じっくり観察すると浮かび上がる。

果てしなく積み重ねられた歴史や文化は、島に深く関わるものだけにだけしか、素顔を見せようとしなない。出しゃばりな瀬戸内島々愛好者が、内海のシャイな島人に成り代わり、具体的な出来事や場所や人を交えて、その多様な魅力を語ったのが本書だ。

当初は、この一冊で語り尽くすつもりだったが、伝えたい島々の表情があまりにも豊か過ぎ、ごく一部しか伝えることはできなかった。

それでも、これだけの分量になった。

瀬戸内の島々の懐が、いかに深いか想像してもらえらるだろう。

個人宅なので載せられなかったが、島の家々に眠る幻影にはしばしば驚かされた。

日中国交回復前に購入したパンダの剥製。与謝蕪村や池大雅が遊びに来た時に、お札に書き残していったという俳画。極彩色で精緻な枕絵は、嫁ぐお姫様用だったのか。歩いていけば、ひよこりとそんなものに出会うことがあるのが、瀬戸内海の島々だ。瀬戸内海やそこに浮かぶ島々に少しでも興味があれば、どこから紐解いてもかまわない。心惹かれたテーマから、読んで欲しい。もちろん、最初から読み通してもいい。島の美味や島食材三昧、ひたすらのんびり、猫島めぐり、花追いの島歩き、廃墟的な景観、日本の歴史の一コマ、魅力的な街並み、人と関わりの深い無人島などなど。ここぞという島があれば、一度訪ねて欲しい。必ずや自分なりの発見があるだろう。

# 目次

口絵	…… 2
地図	…… 4

## 序章

瀬戸内海について	…… 15
----------	-------

瀬戸内海とは …… 16

## 第一章

瀬戸内海・島旅の楽しみ方	…… 25
--------------	-------

〔初級編〕日帰りで島を楽しむ …… 26

〔中級編〕島に泊まって島時間を堪能 …… 38

〔上級編〕船を駆使して自由自在 …… 46

## 第二章

島旅を楽しむための基礎知識	…… 57
---------------	-------

カバー写真

大：粟島城山より

小上：小与島

小下：野島の猫

高見島浦集落の小路



総扉：小手島から北木島に沈む夕日を望む



第三章

魅力別・行ってみみたい島  
……  
105

多島海のビューポイント

城山(粟島〔香川県〕) …… 106

金蔵山(柱島〔山口県〕) …… 108

神峰山(大崎上島〔広島県〕) …… 110

島へ行くこう・知る(情報収集) …… 58

島へ行くこう・渡る …… 62

〈コラム〉瀬戸内へ——LCCの活用 …… 80

島へ行くこう・買う …… 74

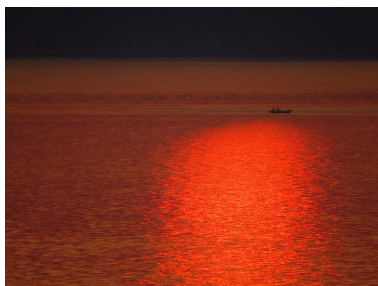
〈コラム〉やっと復活した商店だったが……魚島(上島町) …… 80

島へ行くこう・食べる …… 86

島へ行くこう・歩く …… 92

島へ行くこう・泊まる …… 96

島へ行くこう・交わる …… 102



夕映えの海を船が一艘ゆく

(1) 最近元気な島 …… 112

志々島(香川県)——昨年から急に動き出し3月には2人の移住者が …… 112

直島(香川県)——どこへ行くのか? 変容し続ける島は …… 119

小豆島(香川県)——続々とやってくる若い移住者たち …… 126

(2) うまい島宿 …… 131

真鍋島(岡山県)——島宿三虎 …… 131

津和地島(愛媛県)——島産の魚介と野菜たっぷりの天然料理の亀川旅館 …… 138

(3) 猫の島 …… 142

津島(愛媛県)——来島海峡大橋の絶景と昭和の家並み …… 142

野島(山口県)——子どもたち全員が島外から通学中 …… 148

佐柳島(香川県)——チャーター船で乗り付ける猫客たち …… 154

(4) 歴史の香り漂う島 …… 159

本島(香川県)——島名に込められた誇りを勤番所と笠島に見る …… 159

大三島(愛媛県)——国宝・重文の武器甲冑の8割がある …… 164

(5) 灯台で有名な島 …… 167

百貫島(愛媛県)——意外に優しげな海岸もあった監獄島 …… 167

鍋島(香川県)——乗物から見下ろせる歴史的灯台 …… 173

- 釣島(愛媛県)——純然たる洋式建築の旧官舎が全国唯一今も残る …… 178
- (6) 花が咲き誇る島 …… 184
- 因島(広島県)——かつて瀬戸内を大いに潤した除虫菊の余韻 …… 184
- 岩城島(愛媛県)——天空を巡る桜の回廊にほれぼれ …… 190
- 小手島(香川県)——春先に咲き乱れる源平桃 …… 198
- 六島(岡山県)——冬こそ魅力全開。スイセンの香りが島を包む …… 205
- (7) 伝統的な景観で見逃せない島 …… 212
- 大崎下島(広島県)——甦った江戸から昭和初期の古い町並み・御手洗 …… 212
- 大崎上島(広島県)——隠微な空間に往時の繁栄を偲ぶ・木江 …… 219
- 高見島(香川県)——幻の重要伝統的建造物群保存地区・浦 …… 226
- (8) 島暮らしするように泊まりたい …… 233
- 牛島(香川県)——アイランドガールで暮らすように滞在 …… 233
- 讃岐広島(香川県)——ひるねこで島時間に溺れたい …… 247
- 周防大島(山口県)——島人宅に居候して見えたこと …… 241
- (9) 息づいている伝統行事 …… 253
- 越智大島(愛媛県)——島人と自然に交流できる楽しい遍路市 …… 253
- 櫃石島(香川県)——個性的な大的スンドー矢などが特徴のももて祭 …… 258

(10) 産業遺産の島 …… 264

小島(愛媛県) — 数奇な運命をたどったバルチック艦隊防備の要塞 …… 264

大久野島(広島県) — ウサギ人気に占領された毒ガスの島 …… 268

(11) 特別な歴史を持つ島 …… 273

庵治大島(香川県) — 白砂青松の優しげな島に埋もれた暗い歴史 …… 273

犬島(岡山県) — 現代アートの島に秘められた有為転変 …… 280

〈コラム〉瀬戸内国際芸術祭の島 女木島(香川県) …… 284

(12) 人口一桁の島 …… 286

小与島(香川県) — 年に一度の春祭りは大家族の親睦会 …… 286

情島(広島県) — イノシシに苛まれる元軍都呉のお膝元 …… 291

黄島(岡山県) — 神殿と自然農法が渾然とした島 …… 296

(13) 表情豊かな無人島 …… 302

大黒神島(広島県) — 瀬戸内海最大の無人島に人の影 …… 302

宇治島(広島県) — シカとクジャクの領土に上陸 …… 307

円上島・股島(香川県) — 塩飽水軍の痕跡と菊花石を求めて …… 313



序  
章

瀬戸内海について

## 瀬戸内海とは

### 意外に面倒な瀬戸内海の定義

瀬戸内海という言葉で表される地域は、自明の理のように思われるが、実際どこからどこかということになると、一筋縄ではいかない。定義によって、微妙に変わってくるからだ。筆者は、漠然と東側は明石海峡と鳴門海峡、西側は関門海峡と豊予海峡で囲まれた内海と思っているが、地図を眺めていて一番納まりがいいからという、きわめて個人的な理由しかない。そもそも、瀬戸内海という括り方すらずいぶん新しい考え方らしい。

——区域の認識に多少の違いはあるにせよ、日本人が瀬戸内海をひとつのまとまった地域と捉えはじめたのは江戸後期のころであり、そして「瀬戸内海」という語を用いはじめたのは明治初年のころであり、さらにひとつのまとまり〈瀬戸内海〉が定着するのはおよそ一〇〇年ぐらい前の明治後期のころであったと思われる。

名著『瀬戸内海の発見』（中公新書 1999年）の著者西田正憲氏は同書の中でそう



最初に瀬戸内海国立公園に指定された塩飽諸島



備讃瀬戸東部。中央右は直島諸島

語っている。それまでは、大きな海域のとらえ方として、播磨灘はりまなだや備後灘びんごなだ、燧灘ひうちなだ、伊予灘いよなだ、周防灘すおうなだなど灘という概念はあったが、連なる灘を総称する「瀬戸内海」は存在しなかった。

では、法律적으로見た場合どうなるのか。多くの個人的で狭い瀬戸内海瀬戸内海の概念に、大阪湾と紀伊水道の一番狭まった所から北側の海域を加えていどになるようだ。以下しばらくは、法文の引用を羅列したもので、読み飛ばしてもらっても構わない。

「瀬戸内海環境保全特別措置法」には、瀬戸内海の定義として、以下のようにある。

——第2条、この法律において「瀬戸内海」とは、次に掲げる直線及び陸岸によつて囲まれた海面並びにこれに隣接する海面であつて政令で定めるものをいう。1、和歌山県紀伊ノ御埼灯台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬灯台に至る直線。2、愛媛県佐田岬灯台から大分県関埼灯台に至る直線。3、山口県火ノ山下潮流信号所から福岡県門司埼灯台に至る直線。

後に、次の地域が追加された。

——1、愛媛県高茂埼から大分県鶴御埼に至る直線及び陸岸によつて囲まれた海面。2、山口県特牛灯台から同県角島通瀬埼に至る直線、同埼から福岡県妙見埼灯台に至る直線及び陸岸によつ

て囲まれた海面。

2 に至っては、瀬戸内海とは感じられないが、法文にはこうある。

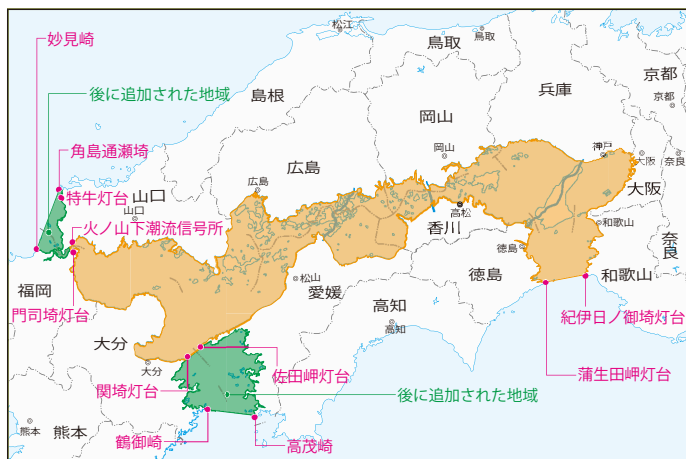
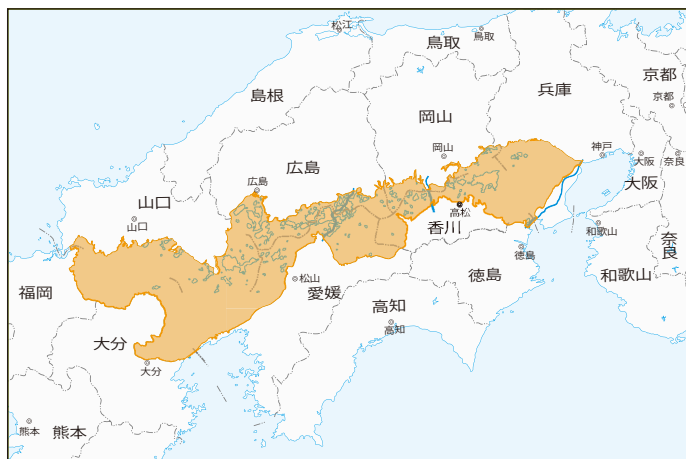
「漁業法施行令第27条」でも、ほぼ同じく次に掲げる直線及び陸岸によつて囲まれた海域と定められている。

—— 1、和歌山県紀伊日ノ御埼灯台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬灯台に至る直線。2、愛媛県佐田岬灯台から大分県関埼灯台に至る直線。3、山口県火ノ山下潮流信号所から福岡県門司灯台に至る直線。

また、「領海及び接続水域に関する法律施行令」には、瀬戸内海と他の海域との境界として、詳細な数字が並んでいる。

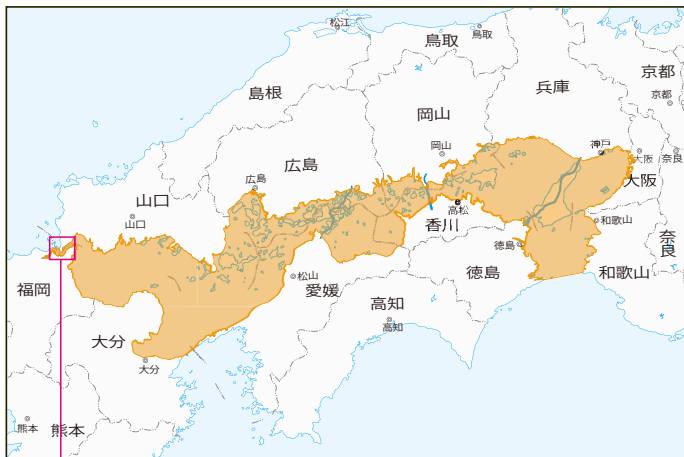
—— 1、紀伊日ノ御埼灯台（北緯33度52分55秒東経135度3分40秒）から蒲生田岬灯台（北緯33度50分3秒東経134度44分58秒）まで引いた線。2、佐田岬灯台（北緯33度20分35秒東経132度54秒）から関埼灯台（北緯33度16分東経131度54分8秒）まで引いた線。3、竹ノ子島台場鼻（北緯33度57分2秒東経130度52分18秒）から若松洞海湾口防波堤灯台（北緯33度56分28秒東経130度51分2秒）まで引いた線、とある。

## ① 筆者が漠然と思う瀬戸内海の範囲

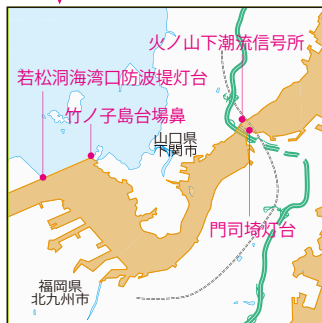


## ② 「瀬戸内海環境保全特別措置法」による瀬戸内海の定義

③ 「漁業法施行令第27条」  
 ④ 「領海及び接続水域に関する法律施行令」による定義



③ 「漁業法施行令第27条」



④ 「領海及び接続水域に関する法律施行令」

③と④はほぼ同一の範囲であるが、関門海峡周辺の範囲に相違がある。



## 外国人も絶賛していた瀬戸内の景観

古来、瀬戸内海の美しい景観は多くの外国人を惹きつけてきた。朝鮮通信使たちは、鞆の浦から一望する景観を特に愛でて、日東第一形勝（日本一素晴らしい景勝）と絶賛している。シーボルトなど、瀬戸内海を航海することがあった江戸期の外国人の多くも、瀬戸内海の景観を褒めたたえ記録に残している。

明治になって間もない1872年、世界一周旅行の途中で日本を訪れた、世界の旅行業の開祖トマス・クックは、次のように瀬戸内海を絶賛し、どこか一カ所の点景ではなく、移りゆく風景（シークエンス）の素晴らしさが、瀬戸内海の醍醐味だと語っている。

——私は、イングランド、スコットランド、アイルランド、スイス、イタリアの湖という湖の殆ど全てを訪れているが、ここはそれらのどこよりも素晴らしく、それら全部のもっとも良いところだけとって集めてひとつにしたほど美しい。奇妙な形をした山や丘陵のいくつもの集合は、どれも藪や茂みや樹木に豊かに覆われて、光り輝く緑の絨毯のような空隙地と調和を保ち、それらのたたずまいが間を縫って走る狭い水路や湾や入江をあまりにも魅力的に見せ、もっと奥を見たいという誘惑に耐えるのは容易でなかった。我々はあまりに豊かな自然の恵み、次々に移り変

わって終わることの知らない景観の美しさに呆然としてしまった。(『トマス・クック物語——近代ツーリズムの創始者』ピアーズ・ブレンドン著、石井昭夫訳 中央公論社 1995年)

日本を代表する優れた景観が認められ、1934年に雲仙、霧島と並んで、瀬戸内海は日本で最初の国立公園に指定された。当初は、香川県屋島や小豆島、岡山県牛窓うしまどから広島県鞆とらの浦、香川県三崎(庄内半島)までの備讃瀬戸周びさんせと辺に限定された指定だった。その後、1950年に淡路島周うら辺から周防灘・姫島に至る陸域主要部が追加指定され、さらに1956年には六甲山、国東半島くにさき等の陸域及び紀淡海峡、関門海峡などの海域も追加指定され、ほぼ現在の瀬戸内海国立公園の形が整った。地域は1府10県におよび、陸域だけで約67000ヘクタール、海域も入れると90万ヘクタールを越す国内で最大の国立公園となっている。

そして、無人島も含めた多くの島々の一部、あるいは全部が国立公園に指定されている。有人島だけ見ても、80以上の島々が国立公園となっている。本州や四国本土からの景観ももちろん素晴らしいが、やはり内海に散りばめられた無数の島があってこそその絶景だ。本土から島へ、島から島へ、自在に動き回り、時にはゆっくりと滞在し、気に入った島に出



輶の浦對潮樓に伝わる日東第一形勝の書



塩飽諸島と笠岡諸島

会ったら四季折々の島時間を味わい、充実した島旅を楽しんで欲しい。

ここまで、さんざん瀬戸内海と島々の魅力を語ってきたが、まだ日本人全体の認識になっていないような気がして仕方ない。瀬戸内国際芸術祭やサイクリストの聖地として世界から注目されはじめたしまなみ海道、訪日観光客から強い支持を受ける安芸の宮島など、徐々にその価値は再認識されはじめているが、まだまだだ。有名な観光の島や聖地だけで

はなく、普通の暮らしが光る場所が瀬戸内の島々だ。ぜひ自分の足で訪ねて、魅力を見つけて欲しい。

第  
一  
章

瀬戸内海・島旅の楽しみ方

## 【初級編】日帰りでも島を楽しむ

### 気軽に渡れる島が多い瀬戸内海

島旅を楽しむために神様が創造してくれた場が、瀬戸内海ではないか。

そう思いたくなるほど、変化に富んだ表情をみせてくれる島が連なり、点在している。そして、比較的本土から近く、海も穏やか。もちろん、激しい潮流が渦巻く場所も多いし、荒れることもある。それでも、例えば首都圏と比べたら雲泥の差だ。

首都圏で本土から近くて、簡単に渡れる島といえば、横須賀沖の無人島猿島、熱海沖あたまの初島、房総鴨川沖の仁右衛門島にえもんじまくらいしかない。初島までの所要時間は25分だが、往復で2600円もする。仁右衛門島は、鴨川まで行くのが大変だ。

それ以外に、首都圏で島らしい島となると、伊豆諸島、そして小笠原と、難易度が急増してしまう。近年、東京から大島を経て神津島こうづしままでジェット船が就航したので、大島まで1時間45分で行けるようになった。時間的には日帰りも十分可能だが、片道7660円（2016年7月現在）。LCCで成田から瀬戸内の高松・松山・広島へ飛ぶのと、ほぼ同じ金額だ。普通の客船は、東京を23時に出て、大島到着は翌朝5時。片道の運賃は

5120円(2016年7月現在)と、それほど安い訳でもないし、最低船中に1泊しなくてはならない。

要するに、首都圏で島に行こうとすると「よし！ 島へ行くぞ！」と、気合を入れる必要があるのだ。伊豆諸島は財政的に恵まれた東京都下であり、港湾の整備も進み、港の状況が今一つの利島、御蔵島、青ヶ島などは、隣の大きな島とヘリコミューターで結ばれているから、交通的な不便さは際立たないが、冬場の3島はトカラ列島並みの厳しさだ。

それに比べると、瀬戸内の船はまるでバスのような感覚で使われている航路が多い。大きなクラーボックスを持ち、高価なブランド釣り具やウエアで武装した獲る気満々のアングラーには腰が引けるが、お手軽な釣竿を担ぎ雪駄履きで自転車に乗り、そのまま島へ釣りに行くオジイさんや粗末な釣り道具や竿を大事そうに抱えて船に乗る少年たちの姿は、微笑ましい。

町のスーパーでまとめ買いしたのだろう、重たそうなコロコロバッグを引いてフェリーに乗り込んでくるオバアさん。結婚式の帰りなのか、引き出物の入った大きな袋をぶら下げた、千鳥足のお父さん。学校帰りの高校生たち。病院帰りと思しいお年寄りたち。そんな人たちがみんな一緒の船に乗り合わせている風景は、ほのぼのと心温まる。

大都会の電車でもそんな人たちは乗り合わせるが、乗ってくる駅も降りる駅もみんなバラバラ。船は、同じ港から乗り合わせ、同じ港で降りることが多い。そして、顔見知りか会釈し合う。船に乗るともう島、という雰囲気になれることもよくある。

陸続きであれば、かなり離れていても歩いて行くことができる。しかし、目的地までの間に絶対的な水域である海が割り込んでくると、たとえ100メートルでも越えがたい障壁になる。そこを船に乗って渡る時、あたかも別の世界に踏み込むような興奮を覚えるだろう。

例えば、JR西日本宮島フェリーならば、みやじまぐち宮島口駅から歩いて数分でフェリー乗り場だ。通常ダイヤ(※)でも、1日53往復。日中は、ほぼ15分間隔で運航している。多客ダイヤなどでは、もっと便数が増すし、大晦日から元旦にかけては終夜運航となる。また、宮島口9時10分発から16



※多客ダイヤでは68往復(2016年夏ダイヤ)



時10分発までの便は、所要時間は変わらないが、世界的に有名な大鳥居に最接近する大鳥居便となる。これだけ便利で、片道10分、180円。さらに、宮島松大汽船みやじまつだいきせんもほぼ同じような条件で、旅客便と自動車航送便を合わせて1日71往復も運航している。大都会の鉄道でも、ここまで便利な路線（航路）は少ない。首都圏在住の島好きからすると、羨ましいこと限りない。

パノラマデッキに出て移りゆく海の表情と近づいてくる宮島の景観を眺めているだけで、心が浮き立ってくる。小さな船旅、島旅入門の初級コースにふさわしい航路だ。1日2往復、3往復して船旅、島旅を楽しんでも、時間も船賃もたかが知れている。目的地自体が世界遺産に登録されており、嚴島神社いつくしまじんじやを中心とした文化的な見どころに富み、さらに標高535メートルの最高峰弥山みせんは、素晴らしい眺望も開ける上に、彌山原始林みせんげんしりんもある。

弥山の魅力については、1913年ベルリン大学の世界



眺望も素晴らしい弥山(みせん)山頂

大元公園のモミ原生林。宮島

的植物学者アドルフ・エングラー博士が、ヤマグルマやマツブサなど植物系統学上貴重な植物をみて、「できるならば一生ここに住んでここで死にたい」と語ったという逸話があるほど。

瀬山原始林は、ツガ林とカシ類を伴うアカマツ林から構成され、瀬戸内海の島に残る極相林（これ以上変化しない安定した状態の森）として貴重だという。

7世紀以降、神の島として崇められてきたため、他の島に比べて自然がよく残っている。水田がなく里山化されず、本来の植生がよく残されたという。また、多くの希少種がありながら、植物の種類も豊富なのが宮島の大きな特徴だ。

自然だけが弥山の魅力ではない。弥山本堂、靈火堂、三鬼堂、大日堂、文殊堂、観音堂、水掛地藏堂、奥の院、御山神社などの古刹。806年、大聖院を開創した弘法大師が修行の際に焚いてから燃え続けている霊火きえずの火をはじめ、錫杖しゃくじょうの梅、曼荼羅岩、干満岩、拍子木の音、しぐれ桜、龍燈の杉の弥山七不思議など、文化的な見どころも満載だ。

海岸沿いの大元公園の上まで降りると、冷涼な気候が好きなモミの原木が繁っている。中国地方では300メートル以上の山地に多く、海岸線のモミ原生林は極めて稀だ。針葉樹が主役で藪の少ないすっきりした風景は、ヨーロッパの整備された公園を思い起こさせてくれる。